

2025
6
12
THU

9
23
TUE

堂 本 印 象 と 大 阪

50TH ANNIVERSARY OF HIS DEATH SPECIAL EXHIBITION

DOMOTO UNSHO ANIK HIS LASTING FOOTPRINTS IN OSAKA

開館時間

午前9時30分〜午後5時（入館は30分前まで）

「休館日」

月曜日(月曜日が祝休日の場合は翌平日休館)

一般 580 (460) 円

高天生 450 (360) 円

65歲以上 290 (230) 附一(要公的証明書)

内は20名以上の団体料金 中学生以下無料

「那好，就訂了。」長田泉美說道。

公益財団法人京都文化財団、京都新聞

助成

東山日法人地境自危

〒603-8355 京都市北区平野上柳町26-3

Te 1 0 7 5 1 4 6 3 1 0 0 0 7



中国书画函授大学肇庆分校

NEKOTI PRIMERI PRILAGODITOSTI ZA NISKO OBLASTI: MONTENEGRO

堂本印象 大阪玉造教会壁画《聖母マリア（小下絵）》1962年

没後 50 年記念

企画展

堂本印象と大阪

▶会 期 令和 7 年 6 月 12 日（木）～9 月 23 日（火・祝）

▶開館時間 9：30～17：00（入館は 16：30 まで）

▶休 館 日 月曜日（月曜日が祝休日の場合は翌平日休館）

予定を変更する場合がございます。

ご来館前に当館ホームページなどで最新情報をご確認ください。

▶入場料金 580 円（460 円）、高大生 450 円（360 円）、65 歳以上 290 円（230 円）（要公的証明書）

※（ ）内は 20 名以上の団体料金。

※中学生以下および障害者手帳をご提示の方（介護者 1 名を含む）は無料。

▶主 催 京都府、京都府立堂本印象美術館（指定管理者：公益財団法人京都文化財団）、京都新聞

▶助 成 一般財団法人地域創造

報道機関 京都府立堂本印象美術館

お問合せ先 TEL：075-463-0007 FAX：075-465-3099 MAIL：museum@d-insho.jp

展覧会概要

堂本印象（1891-1975）と大阪との関係は深く、初期から晩年まで約 60 年に及びます。本展では、大阪・関西万博の開催を記念し、大阪を舞台に行われた印象の芸術活動を紹介します。図案家として働きながら画家活動をしていた 20 歳の頃の風俗画をはじめ、日本画家となってから手掛けた四天王寺の五重宝塔の仏画、戦後、大阪高松カテドラル聖マリア大聖堂（大阪玉造教会）のために制作した聖母マリア像の壁画や、1970 年の大阪万博の万国博ホールの緞帳の原画など、多彩な創作を行いました。その軌跡をたどります。

みどころ

1. 青春時代を過ごした大阪での活動を紹介します。

●図案家として

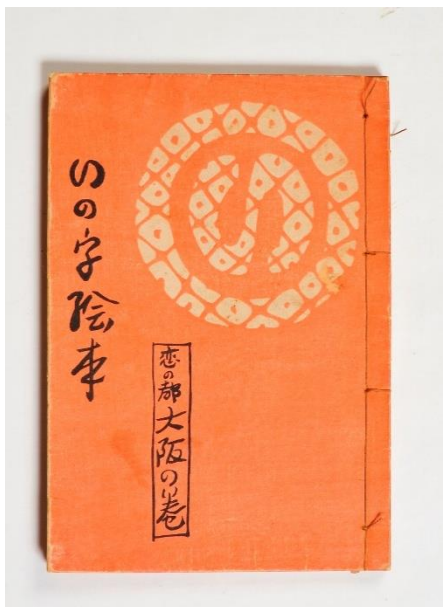


堂本印象案《国宝日暮文蒔絵錦》（部分）大正 8 年(1919)以前 龍村美術織物蔵

●画家活動



堂本印象《住吉高燈籠絵巻》（部分）明治 44 年(1911)



堂本印象『いの字絵本』大正元年(1912)



堂本印象《九軒の女》1912 年

●その他の活動



堂本印象《浪速男》大正 4 年(1915)

2. 日本画家として大成後は寺院からの依頼が殺到します。なかでも四天王寺五重宝塔の仏画（昭和 15 年）は、印象仏画の最高傑作となりましたが、戦時中に焼失。残された下絵から当時の面影をしのぶことが出来ます。



堂本印象《八部衆(大阪四天王寺宝塔内壁画 乾闥婆 下絵)》昭和 14 年(1939)

堂本印象《阿弥陀佛(大阪四天王寺宝塔内壁画 四方仏 下絵)》昭和 14 年(1939)

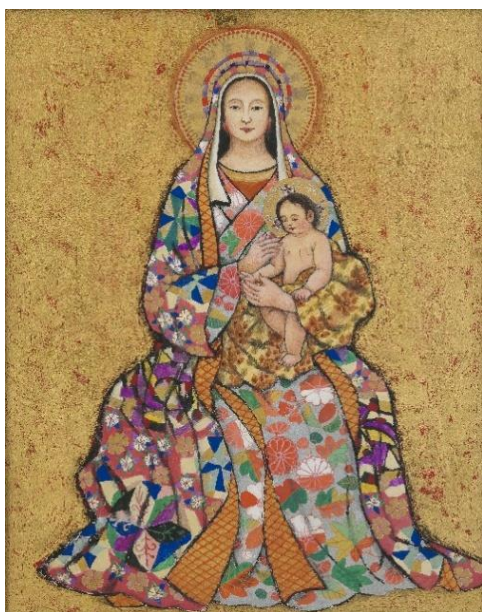
3. 戦後は大阪を代表する建築である輸出繊維会館の内部壁画や装飾、大阪玉造教会の聖母マリア像なども手掛けます。



堂本印象《壁面モザイク(小下絵)大阪繊維会館》昭和 35 年(1960)

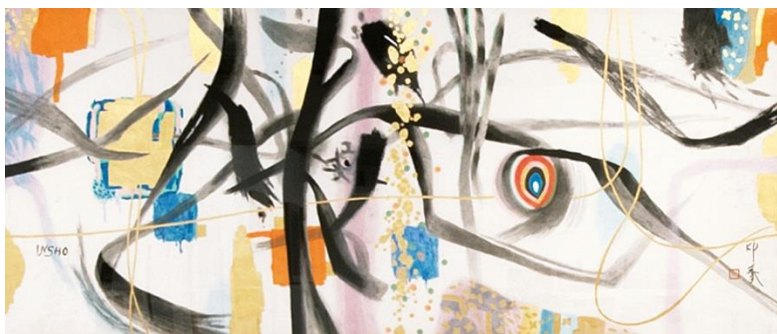


堂本印象 《船と虹(小下絵)大阪繊維会館》昭和 35 年(1960)



堂本印象 大阪玉造教会壁画《聖母マリア(小下絵)》昭和 37 年(1962)

4. 1970 年、「人類の進歩と調和」をスローガンに掲げた大阪万博に際し、万国博ホール緞帳の原画を制作しました。



堂本印象 《手をつなぐ(万国博ホール緞帳原画)》昭和 44 年(1969) 大阪府（日本万国博覧会記念公園事務所）蔵

※所蔵の表記のないものはすべて京都府立堂本印象美術館蔵

関連イベント

●夏休み親子向けワークショップ（要参加費・申込）

染色体験～日本手ぬぐいを染めよう～

刷り込み技法で模様を染め、オリジナル日本手ぬぐいを作成します。

講 師：金井大輔氏（染色家）

日 程：7 月 26 日（土）

場 所：美術館内、旧堂本印象邸

時 間：約 2 時間

参加料：有料

※申し込みなど詳細は美術館ホームページで後日発表

※問い合わせ 京都新聞 COM 営業局事業部（Tel. 075-255-9757 平日 10 時～17 時）

●ギャラリートーク（参加費・申込不要、要入場券）

担当学芸員による

日 時：2025 年 7 月 12 日（土） 14：00～

2025 年 8 月 2 日（土） 14：00～

場 所：美術館 2 階展示室

同時開催

●第 6 回京都工芸美術作家展

2025 年 6 月 12 日（木）～9 月 23 日（火・祝）

京都にゆかりのある工芸作家たちが、現代の感性に基づく意匠と技法によって独創的な作品を発表します。

場 所：新館展示室

出品者：加藤丈尋（陶芸）、日下部雅生（染織）、中野順二（漆芸）、横山喜八郎（染織）

主 催：京都府、京都工芸美術作家協会、京都府立堂本印象美術館

助 成：一般財団法人地域創造

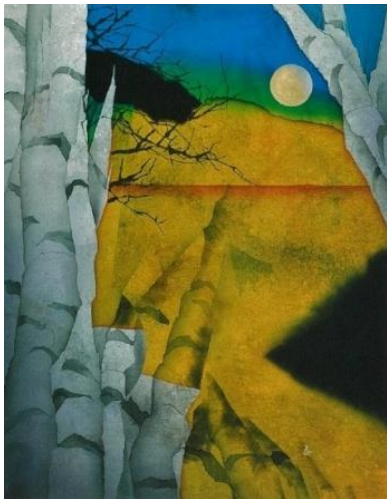
出品作家によるギャラリートーク

場所：新館展示室

6 月 28 日（土） 14：00～ 横山喜八郎、加藤丈尋

7 月 5 日（土） 14：00～ 中野順二、日下部雅生

出品作品



横山喜八郎《鳶沼秋景Ⅱ》



日下部雅生《クロッカスの庭》



中野順二《浮遊》



加藤丈尋《宙》

京都府立堂本印象美術館